

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神医学 (理学療法学科・作業療法学科)		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
久保木 智洸	講師控室	kyoumu	授業終了後と 随時メールで質問受付		
授業の目的・概要	精神疾患は厚生労働省が指定をしている「5 大疾病」の中に含まれており、患者数は他の疾病と比べても最大である。そのため、理学療法士や作業療法士として医療現場で臨床を行うにあたり、精神疾患やその治療に関する知識は必須となる。本科目では特に重要な精神疾患に関する基礎的な知識を習得することを目指す。				
学習上の助言	教科書の内容を中心に扱うため予習をすること。授業内容に関する質問は、授業中のみならず授業終了後や随時メールでも受け付けている。積極的に質問をして疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	精神医学 第 4 版増補版 (標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野) / 編集：上野武治 / 出版社：医学書院 / 出版年：2021 年				
参考書	現代臨床精神医学 改訂第 12 版 / 原著：大熊輝雄 / 出版社：金原出版、精神医学 (精神保健福祉士養成セミナー 第 6 版) / 編集：精神保健福祉士養成セミナー編集委員会 / 出版社：へるす出版				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	精神医学に関する基礎的な知識を習得し、それを説明することができる。			PT(3)、OT(2)	
②	代表的な精神疾患に関して、その治療法や対処法を理解している。			PT(2)、OT(3)	
③	精神医学の歴史を理解し、人権擁護の重要性を認識する。			PT(1)、OT(1)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション：授業の概説 精神医学の概論について学習する	講義	教科書 P2-6 を読み、精神医学の概要を理解する。	4	
2	精神医学の歴史について学習する	講義	教科書 P7-10 を読み、精神医学の歴史を理解する。	4	
3	精神障害の成因と分類について学習する	講義	教科書 P11-15 を読み、精神障害の精神障害の成因と分類について理解する。	4	
4	精神機能の障害と精神症状について学習する①	講義	教科書 P16-24 を読み、精神症状について理解する。	4	
5	精神機能の障害と精神症状について学習する②	講義	教科書 P24-36 を読み、精神症状について理解する。	4	
6	精神機能の障害と精神症状について学習する③	講義	教科書 P36-45 を読み、精神症状について理解する。	4	
7	第 1-6 回のまとめと関連する重要な精神疾患について	講義	教科書 P2-45 を読む。配布資料で復習を行う。	4	
8	精神障害の診断と評価について学習する①	講義	教科書 P46-53 を読み、精神障害の診断と評価について理解する。	4	
9	精神障害の診断と評価について学習する②	講義	教科書 P53-67 を読み、心理検査について理解する。	4	
10	症状性精神障害について学習する	講義	教科書 P94-99 を読み、症状性精神障害について理解する。	4	
11	第 8-10 回のまとめ	講義	教科書 P46-67、94-99 を読む。配布資料で復習を行う。	4	
12	脳器質性精神障害について学習する①	講義	教科書 P68-81 を読み、器質性精神障害について理解する。	4	
13	脳器質性精神障害について学習する②	講義	教科書 P81-93 を読み、器質性精神障害について理解する。	4	
14	精神作用物質による精神および行動の障害について学習する	講義	教科書 P100-114 を読み、精神作用物質による精神障害について理解する。	4	
15	第 12-14 回のまとめ	講義	教科書 P68-93、100-114 を読む。配布資料で復習を行う。	4	
試	定期試験				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	15	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に穴埋め式のテストにて評価する。主に教科書および授業内で提示した資料を元に出題をする。テスト結果が全体の70%の評価となる。				試験の添削と返却によりフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業への参加や発言の態度について総合的に評価する(全体の30%) 積極的に発言をすること。				授業や課題に対する取り組み方を解説する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎久保木 智洗</p> <p>授業は主に、教科書の重要箇所を元にして、配布資料の穴埋めに対する回答を学生に求める。教科書をよく読み、予習をした上で授業に参加をしてください。 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われる可能性もある。</p> <p><b>教員の実務経験：</b> 精神保健福祉センターや精神科医療機関、教育事務所で精神保健福祉の支援者として7年の実務経験。 <b>実践的授業の内容：</b> 教科書の内容や教員の体験による事例を通し、臨床の場で必要となる精神科領域の病気や診断、治療に関する知識を学習する。</p>							